

海を味わってついでに海鮮まつり

7月8日、『てつこい海鮮まつり』が汐吹漁港において開催されました。

てつこい海鮮まつりは漁業者主催のイベントということもあり、普段の仕事場である『漁港』を会場に行われ、漁船の乗船体験やイカ釣り体験、特大サイズのてつこい（ヒラメ）を地元の漁業者が捌く解体ショーなど、『浜』ならではの見どころが満載でした。さらに販売コーナーでは、新鮮なてつこいを使用したフライや、鬼エビの味噌汁、すり身汁など浜のお母さんの手作り料理、そして獲れたての魚介類がスーパードリンクなど、安値で売られ、それらを買いたい求める方々が列をなす盛況ぶりでした。



サッポロビール園で上ノ国の美味を売る

7月1日から2日にかけて、札幌市にあるサッポロビール園においてイベント『道産子感謝フェス』が開催され、本町からは道の駅もんじゅを運営している上ノ国町観光振興公社が出店しました。

会場がビール園ということもあり、全道からお酒に合う様々な料理が展覧されたなか、上ノ国ブラスでは、まちの名物『てつこい（ヒラメ）』を気軽に食べられるようにと考案された『てつこいクリーミーフライ』のほか、フルーツポークを使用した『ハンバーグ春巻き』の2種類が販売されました。特に、他の店舗では焼き鳥などのつまみのメニューが中心だったことから、本町の工夫した料理が来場者には新鮮に映った様子で、盛況のイベントの中で上ノ国町の特産品がひととき好評を博しました。



真夏の湯ノ岱を若男女が走る

7月9日、湯ノ岱地区において第12回湯ノ岱温泉マラソンが開催され、町内外から約200名のランナーが湯ノ岱に集結しました。

夏日となったこの日、湯ノ岱温泉前では朝から老若男女のランナーがウォーミングアップする姿が見られ、いざレースでは日頃の練習の成果を発揮して湯ノ岱の自然の中を駆け抜けると、沿道からは地域の方々のエールが飛び交っていました。また、今年はゲストランナーとして、昨年函館マラソン女子の部で優勝した本町出身の高浜香澄さんが参加し、時には一緒に走るランナーに声がけをしながら力走されていきました。



女性の視点から考える暮らしやすいまちづくり

6月25日、檜山管内でそれぞれ活動する女性団体連絡協議会主催の檜山大会が本町で開催され、『上ノ国町女性団体連絡協議会（品田俊子会長）』は開催町として大会運営を主導しました。

同団体は、『女性の視点から『豊かな地域づくり』の実現を目的としており、現在、宮越、桂岡、中須田、北村、上ノ国、扇石、汐吹、石崎の8地区で115名の会員が活動しています。この檜山大会において、開催町代表として挨拶と決議を行った品田会長は、『豊かな地域というテーマに対して、女性の力を活かすために、町民が協力し、今後も地域の活性化に活動していくことが誓い合われました。また、午後からは東北を中心に創作活動を行っている『伊奈かつべい』氏を招いた講演会も好評を博しました。

